Creative Enzymes®

ネイティブ・サーモマイクロビア属 Hesperidinase (Rhamnosidase B)

Cat. No. NATE-0341

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	熱安定性α-L-ラムノシダーゼは、末端のL (+)-ラムノースとラムノース含有グリコシドのアグリコンとの間の結合を切断する触媒です。この酵素はナリンギンにも非常に活性です。L-ラムノースまたはその誘導体は適切なキラル構造成分であり、医□品、植物保護剤の合成や食品および香水産業における香料の調製に使用できます。
別名	ヘスペリジナーゼ; α-L-ラムノシダーゼ T; α-L-ラムノシダーゼ N; α-L-ラムノシダーゼ

製品情報

由来	サーモマイクロビア属
最適温度	酵素は比較的広い温度範□（45-75°C）で活性があり、最適温度は約65°Cです。
特異性	α-L-ラムノース残基の末端非還元型の加水分解、α-L-ラムノシド、ナリンギン、ヘスペリジンおよびルチン。
単位定義	酵素活性の1単位（U）は、1分あたり1 μmolのp-ニトロフェニル-α-L-ラムノピラノシド（pnpR）の放出を引き起こす量です。